

第6回 音絵巻

OTOEMAKI

コンサート in 浄智寺 Jochiji



「旅上」萩原朔太郎
純情小曲集より(書 森多富)
Journey Sakutaro Hagiwara
from Junjo shokyoku-shu
(sho: Tafiu Mori)

曲: 安江優子
Yuko Yasue



二つの歌(～遠州に伝わる万葉集相聞歌より～)
Two Poems from Manyoshu-the oldest poem anthology

曲: 佐藤 薫 Kaoru Sato



遠望する山の彼方(絵 霞む伊奈の谷 中川紀元)
Far Beyond the Mountains
(picture: Hazy Ina Valley Kigen Nakagawa)

曲: 小久保淳子 Atsuko Kokubo

2022年10月29日(土)

開演13:00～、15:00～(2回公演各1時間)

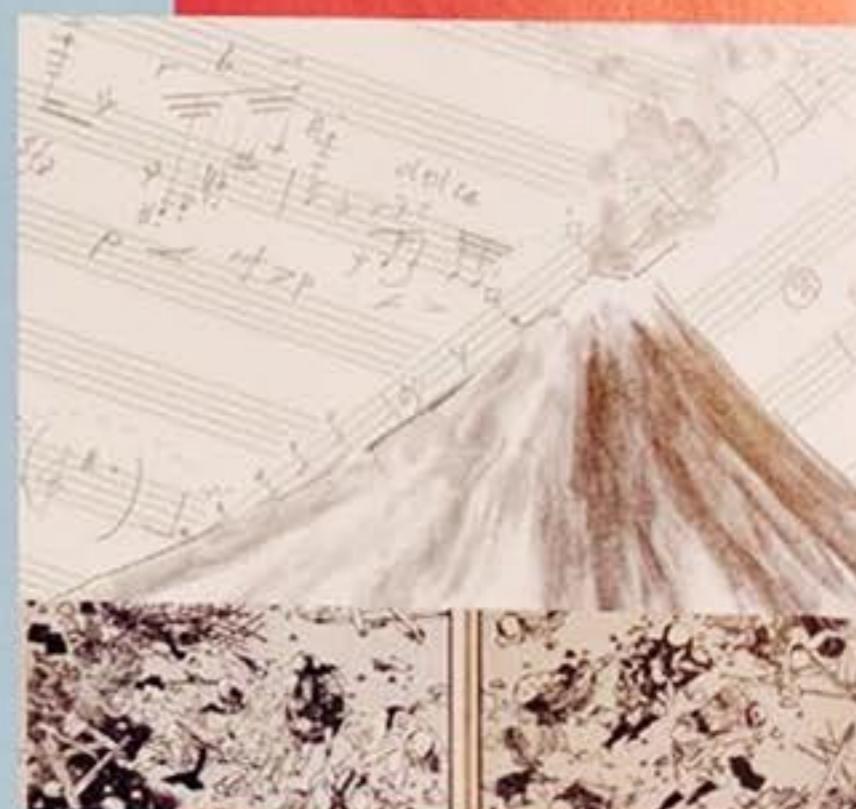
会場: 浄智寺 書院 鎌倉市山ノ内1402 TEL 0467-22-3943 JR横須賀線 北鎌倉駅 徒歩8分

チケット 各3000円(拝観料 200円別途)

お申し込み TEL 090-1770-6972(佐藤) Mail address otoemaki5@gmail.com(音絵巻)

お申し込みサイト Peatix 13時 <https://otoemakil3.peatix.com/> 15時 <https://peatix.com/event/3299833>

主催: 音絵巻 / 後援: 鎌倉市 湘南日仏協会 一般社団法人鎌倉観光フォーラム 愛知県立芸術大学音楽学部同窓会東日本支部



歌枕・不二山と富士山(書 森多富)
Uta-makura -Fujisan & fujisan-
(sho: Tafiu Mori)

曲: 山本純ノ介
Junnosuke Yamamoto



演奏会に寄せて…作曲・創作は誠に不思議なことに、直接関わりのないような分野の表現が自己の内的衝動を大いに刺激したりするのであります。今回は絵画や書から端を発し格式が高く自然に囲まれた山門が印象的な淨智寺の書院で演奏会を開きます。山本、安江作品では書家の森多富さんに曲とのコラボレーション新作(書き下ろし)をお願いしています。また、小久保、佐藤作品では所蔵の中川紀元の絵画2点、万葉集相聞歌を想像させる遠州の写真、これら曲にまつわる絵画・書の作品をご覧になりながらお楽しみください。音絵巻の良き理解者である岩瀬龍太(cla)、松本卓以(Vc)両氏に加え、特にフランス在住の小林真理さんの「歌声」、山田岳さんの「リュート」がお楽しみいただけます。ぜひ足をお運びください。代表 山本純ノ介

作曲者プロフィール

山本純ノ介

祖父直忠、杉山園子と幼少期に音楽を楽しむ。東京藝術大学修士課程修了。作品作曲過程で、「音楽は崇高な祈りである」との理念に至る。北村昭、小林秀雄、松村楨三に師事。千葉大学教授、放送大学客員教授。OTOEMAKI代表。

佐藤 薫

愛知県立芸術大学(作曲)、同大学院修士課程修了。中田直宏、石井歎、両氏に師事。静岡県磐田市こどもミュージカルを長年担当。(因みに2022年8月「とんぼ童子」再演)舞台やバレエ音楽、Jリーグ応援歌、お祭の音楽などジャンルにとらわれない作品多数。

小久保淳子

作曲の基礎を北村昭、管弦楽法を伊福部昭に学ぶ。東京音楽大学作曲科卒業。2016年、音絵巻コンサート in 建長寺「方丈」にてマリンバとチェロの為の「小源詩～桜俊幸の屏風絵に寄せて」が初演され、以来毎回、新作を発表している。OTOEMAKI会員。

安江優子

東京藝術大学音楽学部作曲科卒。作曲を北村昭、音楽学を永富正之に師事。2002年より定期的に作品発表し、編曲、CM等活動は多岐にわたる。出版作品に「Treasure～中也の世界～」、「雨土かのボルカ」がある。日本ロシア音楽家協会、日本女性作曲家連盟各会員。OTOEMAKI事務局長。



演奏者プロフィール

小林真理(メゾソプラノ)

鎌倉市出身。東京藝術大学音楽部声楽科、大学院を卒業後、フランス政府給費留学生としてパリの国立高等音楽院に入学。レジース・クレスパン、ウイリアム・クリスティに師事。在学中よりフランス国営放送などの現代音楽の初演をつとめ、卒業後パリの歌曲コンクール他、数々の国際音楽コンクールで受賞。その後東京藝術大学博士課程においてメシアンの歌曲集ハラウイの演奏と論文で博士号を取得。パロック、オペラ室内楽幅広い分野でヨーロッパ、アメリカ、オーストラリアでソリストとして活動。2004年よりストラスブール地方国立音楽院の声楽の専任教員になり、後進の指導にも情熱を注いでいる。湘南日仏協会会員。公式ブログ <https://marie.groupe-chene.com>



岩瀬龍太(クラリネット)

桐朋学園大学卒業。ベルギーのアントワープ王立音楽院とモンス王立音楽院にて、ワルター・ブイケンス、ロナルド・ヴァン・スパンドンクの両氏に師事。これまでに、ピエトロ・アルジェント国際室内楽コンクール第1位。マルコ・フィオリンド国際室内楽コンクール第3位。バトヴァ国際室内楽コンクール第3位。夏期国際音楽アカデミー(ウィーン)においてバルトーク賞を受賞。ワインモデルン現代音楽祭をはじめ数々の音楽祭に招聘される。



松本卓以(チェロ)

東京藝術大学卒業、同大学院修士課程修了。在学中に福島賞受賞。藝大定期にてサン=サーンスのチェロ協奏曲を協演。現在はパロックから現代まで精力的に演奏活動を展開しており、特に現代音楽の分野では450曲を超える初演を行ってきた。クアルテット・アルモニコ、Ensemble Contemporary a、アンサンブル東風、小松亮太&オルケスタティビカのメンバー。アンサンブルノマドレギュラーゲスト。東京藝術大学及び附属音楽高校非常勤講師。藝大フィルハーモニア管弦楽団チェロ奏者。



山田 岳(リュート)

中学生のときジミ・ヘンドリクスに憧れエレキギターを始める。その後ブルースやヘヴィメタル、プログレ、クラシック、古楽、実験音楽、ノイズなどに傾倒。近年の活動領域はギターほか声や自作楽器を用いたパフォーマンス、演劇、ダンス、インスタレーション制作など多岐にわたる。これまでに第20回朝日現代音楽賞、第75回文化庁芸術祭レコード部門優秀賞、第76回文化庁芸術祭音楽部門大賞、第21回佐治敬三賞を受賞。ソプラノの太田真紀と共に企画主催・主演を務めたオペラ「ロミオがジュリエット」(作曲:足立智美)が第76回文化庁芸術祭大賞(音楽部門)、および第21回佐治敬三賞を受賞。www.gakuyamada.com



森 多富(書家)二松学舎大学文学部(書道専攻)卒。原口富竹に師事。書道同文会理事・事務局長。書塾芙蓉主宰。

